

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	富士フイルム株式会社	事業所名	大宮事業所				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- ( 01 ) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	貨物輸送委託事業者において、自動車から排出される二酸化炭素の排出量を把握する。			○	○	○
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- ( 02 ) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	3年に一回、貨物輸送委託事業者へのアンケートにて取組み状況を確認する。			○	—	—
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- ( 01 ) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	3年に一回、県ホームページにて自動車地球温暖化対策計画書の提出状況を確認する。			○	—	—
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- ( 02 ) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	3年に一回、貨物輸送委託事業者へのアンケートにて環境への配慮状況を確認する。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- ( 01 ) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	製品・部品の出荷包装には、標準箱を優先して使用する。これにより荷姿の共通化を図り積載効率向上に努める。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- ( 02 ) 混載便の利用や共同輸配送の取組	混載便の利用や他社との共同輸配送により、効率的な配送に取り組む。			○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	事前に積み込み物量を把握し最適な車種・台数・便数を手配する。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (01) 発注時間及び配送時間のルール化	配送時間ルール徹底の働きかけをする。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (02) 道路混雑時の輸配送の見直し	道路混雑時の輸配送見直しを働きかける。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (03) 輸送車両の待ち時間の削減	配送時間ルール徹底により、輸送車両の待ち時間を削減する。具体例:輸送車両の発着時刻をイントラネットに公開し、全従業員がいつでも閲覧出来るようにしている。	○	○	○
06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ----- ( )	ミルクラン(巡回集荷)の実施および経路の見直し等の工夫により、輸送距離及び輸送回数の削減に取り組む。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請	低燃費車等の利用を働きかける。具体例:3年に一回実施のアンケートの中で低燃費車導入の項目を記載しており、貨物輸送委託事業者から取組実施の回答を得ている。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	エコドライブの実施を働きかける。具体例:3年に一回実施のアンケートの中でエコドライブの項目を記載しており、貨物輸送委託事業者から取組実施の回答を得ている。	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>( 03 ) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p>	<p>3年に一回、貨物輸送委託事業者へのアンケートにて取組み状況を確認する。 追記: 改善に向けた取組事例はありません。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>( 04 ) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>	<p>輸送トラックの構内駐車場を確保し、周辺道路での駐車待機時間をなくす。 アイドリングストップを働きかける。</p>	○	○	○